インターネットの安全対策

１　危険から身を守るには

インターネットには危険がいっぱい、インターネットを使うのをやめよう！なんて考えていませんか？どうしたら危険を避けることができるのでしょうか。信用できない人とやり取りしない、被害にあったら警察に連絡するなどの安全対策が何より大切です。

パスワードは厳重に管理する

インターネット上のサービスを利用するときは、ユーザー名とパスワードで利用するユーザーが特定されます。その情報が他人に知られると、他人が無断でインターネットに接続したり、サービスを利用したりする危険があります。パスワードは、他人に知られないように管理します。パスワードを尋ねるような問い合わせに応じたり、人目にふれるところにパスワードを書いたメモを置いたりすることはやめましょう。また、パスワードには、氏名、生年月日、電話番号など簡単に推測されるものを使ってはいけません。

他人のパソコンで個人情報を入力しない

インターネットカフェなど不特定多数の人が利用するパソコンに、個人情報を入力することはやめましょう。入力したユーザー名やパスワードがパソコンに残ってしまったり、それらを保存するようなしかけがされていたりする可能性があります。

個人情報をむやみに入力しない

懸賞応募や占い判定など楽しい企画をしているホームページで、個人情報を入力する場合は、信頼できるホームページであるかを見極めてからにしましょう。

SSL対応を確認して個人情報を入力する

個人情報やクレジットカード番号など重要な情報を入力する場合、「SSL」に対応したホームページであることを確認します。SSLとは、ホームページに書き込む情報が漏れないように暗号化するしくみです。SSLに対応したホームページは、アドレスが「https://」で始まり、アドレスバーに鍵のアイコンが表示されます。

怪しいファイルは開かない

知らない人から届いたEメールや怪しいホームページからダウンロードしたファイルは、絶対に開いてはいけません。ファイルを開くと、ウイルスに感染してしまうことがあります。

ホームページの内容をよく読む

ホームページの内容をよく読まずに次々とクリックしていると、料金を請求される可能性があります。有料の表示をわざと見えにくくして利用者に気付かせないようにしているものもあります。このような場合、見る側の不注意とみなされ高額な料金を支払うことになる場合もあります。ホームページの内容はよく読み、むやみにクリックすることはやめましょう。

電源を切断する

インターネットに接続している時間が長くなると、外部から侵入される可能性が高くなります。パソコンを利用しないときは電源を切断するように心がけましょう。

２　加害者にならないために

インターネットを利用していて、最も怖いことは自分が加害者になってしまうことです。加害者にならないために、正しい知識を学びましょう。

ウイルス対策をする

ウイルスに感染しているファイルをEメールに添付して送ったり、ホームページに公開したりしてはいけません。知らなかったではすまされないので、ファイルをウイルスチェックするなどウイルス対策には万全を期しましょう。

個人情報を漏らさない

SNSやブログなどに他人の個人情報を書き込んではいけません。仲間うちの人しか見ていないから大丈夫！といった油断は禁物です。ホームページの内容は多くの人が見ていることを忘れてはいけません。

著作権に注意する

文章、写真、イラスト、音楽などのデータにはすべて「著作権」があります。自分で作成したホームページに、他人のホームページのデータを無断で転用したり、新聞や雑誌などの記事や写真を無断で転載したりすると、著作権の侵害になることがあります。

肖像権に注意する

自分で撮影した写真でも、その写真に写っている人に無断でホームページに掲載すると、「肖像権」の侵害になることがあります。写真を掲載する場合は、家族や親しい友人でも一言声をかけるようにしましょう。